



Newsletter Date Dec. 3
Volume 2, Issue 2

Contents

- ◆ 留学報告会レポート 1
- ◆ 2010 年度後期留学生目標 / アンケート 2
- ◆ 2010 年度前期・通年学生 アンケート 3
- ◆ 定期連絡より～現地レポート 6



留学報告会レポート

いろいろなきっかけをくれる体験だった。留学前は「絶対出来ない」と思っていたことにチャレンジできるようになったり、多少のトラブルに動揺せず、人前に立つことも平気になった。また、将来（就職）やりたいと思うことを見つけることができた。

留学に向け、準備期間としての1年間は、お金を貯めるだけでなく、英語に対する思いを確認することができた良い期間だった。留学前に英語の基礎力をつけて行ったことで回避できた問題も多かったし、自分でアルバイト等で貯めたお金や奨学金で留学中の費用をやりくりできたので、留学前と留学中のほぼ全ての問題を自分で解決できたことはとても良かった。

英語力を上げるだけでなく、異文化を持つ友達と過ごすことで楽しむことができたと思います。コミュニケーションをとることは難しく、苦労したことも多かったし、悩み過ぎて泣いてしまうこともあったけれど、全てが自分にとって良い経験でした。自分自身で問題を解決することができ、少し大人になれた気がします。

言葉にはできないくらい、いろいろな経験を留学で来ることができた。留学前に自分の家から4ヶ月も出たこともなく、現地で何も理解できず話せなかった俺でも、やれば少しは変われると実感でき、すごく良い体験をした。ただ、これは自分ひとりではなく、サポート、世界中の友達などがいてくれたから生き残れたのだと思う。英語だけでなく多くの異文化を学ぶことができ、同時に日本という国を客観的に見れたので多くの発見ができた。この留学で自分はひと回り成長できたと思う。これからの目標は、外国人に優しくすること！また、積極的に英語を使いさらに成長したい。

この留学は私にとって“Challenge”でした。ある程度の英語力を持っていたので、あとは実践するのみという感じでした。この留学を終えて自分なりに人としてもひと回り大きくなった気がします。帰国する時、お母さんのお母さんからもらった形見の指輪をお母さんが私にくれ、とても感動しました。“大切にされている”と実感しました。今でも毎日忘れることなく、サポートファミリーのことを考えています。



<2010 前期>

自分を成長させるきっかけになりました。日本では周りの人たちに甘えていたりしていましたが、現地では自分でやらなければならないことがたくさんあり、だいぶ成長したと思います。

先生が最高でした！人生であの2人の先生に出会えることができて本当に良かったと思います！

この留学は「自立するための1歩」だったと思います。自分の親だったら、知らないうちに気を使って助けてくれているところがたくさんあるんですよね。朝起こしてくれたり、洗濯物が片付いていたり、適度に話しかけてくれたり、逆に放っておいてくれたり。でもホームステイだとは思いません。今までどれだけ自分が甘えていたのかがよく分かりました。ただ、学校とホームステイ以外の選択肢を作らないと、みんなと同じになってしまうので、そこがとても大切だと思います。

留学前は「言語と文化を学び、世界を見たい」という漠然とした目標でしたが、現地について人に騙されそうになったり、言葉が聞き取れず先が不安でした。でも学校が始まると他国の学生と触れ合うようになって、身近な友達としてとても大切な存在となりました。このことで私の目標は変わり「中国・韓国・ロシア・日本をつないでいけるような仕事に就きたい」と思うようになりました。私にとって今回の留学は、人生の原点になり、自分をつみこまれるチャンスだったように思います。



アンケート回答 <2010 前期・通年>

- ① 留学前の自分と現在の自分を比べ、変わった点を教えてください。
- ② 留学先で「初めて」挑戦したことは何ですか。
- ③ 留学先で出会った「影響を受けた人」は誰ですか。
- ④ 留学先で食べた1番美味しい食べ物は何ですか。



① 毎日時間におわれた日本とは違ってこっちは時間がゆっくりながれるような気がします、だから気が長くなったのかわからないけど、腹が立つことはほとんどありません。それから笑顔が多くなった気がします！今まで人と目が合ってほほ笑むなどなかったけれど、今はしょっちゅうです。それと完全に太りました！

② 外人と英語で会話すること、外人の友達ができたと、それからいろんなパーティーに行ったのも初めての経験でした。バスにのるために1時間くらい待たされることも、今ではよくあることですが最初はびっくりでした。

③ アメリカ人の友達

④ 断然、寿司！！ 韓国レストランで食べたビビンバとブルギもおいしかったです！

① I don't know exactly what changed about me. I think it was that I knew it is enjoyable for me to talk English with someone, even if I don't know who he is. It depends on how I communicate with him/her, but I'm enjoying when I'm talking English with my classmates or teachers. It's what I think something about me changed.

② I've not challenged something new yet, but I'm going to do a group activity with kids for volunteer on this Friday, October 1st. That will be what I've never challenged. I'm looking forward to it.

③ Words are too short to explain, but who affected me the most was my teacher from Portugal and classmates from other countries. The teacher has studied English before and has been a teacher here. He would study hard. The classmates can't speak English well, but better than me. They look enjoying talking English with other people. Both the teacher and the classmates affected me at the point of studying English.

④ What I ate here was sushi, donburi, mexican food, and burgers that we've eaten anywhere, but Bobby's meals are the most delicious food I've ever eaten here. I don't know well of cook, but his cook is so delicious. Also, dessert he makes is good. His cook is the best.

① 何事にもまずはやってみようという「チャレンジ精神」が身についたかもしれない。
・自分の意見をまとめる能力がアメリカの授業形体で身についたかもしれない。
・とっさに人を助けられる時ができた。
・少し腹黒くなったかもしれない。

② ・ダンスレッスンに通い始めました。
・スケートボード
・スターバックス
・おうちに餌やり

③ ・サウジアラビアの人達なんですけど、いつも笑顔でポジティブで、そんな彼らをネガティブな自分では少しは見習わなくてはいけないと、影響を受けました。
・ホストファミリーと会話するときによく思うのですが、もっと「世界に起きていること」や「日本のこと」を知るべきだ、と影響を受けました。

④ ・ホストファミリーが作る様々な料理と魚料理（マジ最高です）

① Before, I couldn't speak English. Now, I can speak English a little^^

② I tried to make foreign friends!

③ I don't know. But, I respect my teacher, host family, and foreign friends.

④ Shrimp Fried Rice!!(Chinese food)

① 特に変わりはないですが、アメリカ人っぽくなりました。
　　というのも日本では考えられない挨拶をアメリカでは普通にやっていることかですかね。
　　あごを右斜めに傾げるかっこつける挨拶とかいろいろ覚えてそれが身に付いて Japanese American になれた感じがしました。

② 僕は近くの幼稚園のボランティア活動をしようと思い尋ねたのですが英語力がないせいで追い出されたことですねw

③ African Americans ですね。
　　彼らは僕に Ghetto の在り方を詳しく教えてくれて最高に楽しく過ごしています。彼らの生き様は憧れです。

④ やっぱりアメリカなんでピザでしょうか。
　　なによりもピザが安いのが最高ですね。
　　10ドル払えばエーサイズ、エートッピング、エーなんとかが自分好みのピザができるのでお勧めですねw



① 遅刻・欠席の面はかなり変わりました。電車に乗り遅れないように走るなんて、日本にいた時では考えられませんでした。
　　あとは、人の家なので色々な気遣い、日本じゃ絶対しなかった掃除機を自分からかけたり、洗面所をきれいにしたり、家族の分も食器を洗ったりするようになりました。
　　それから、人と話すとき集中しなきゃと思うってその人の目をすぐ見るようになったり、道ですれ違っても目が合えば笑顔で挨拶したり、色々なことにあまり「恥ずかしい」という気持ちが減った気がします。

② すべてです。何をすることも見るにも未知です。だから楽しいんだと思います。

③ こっちで初めて話して知ったんですが、久保くんは本当にすごいと思います。
　　日本人の中で一番頑張っていたと思いますし、一番英語に力を入れてたのがわかりました。

そしてこっちの人では、近くにいる人よりも名前も知らない通りすがりの人の方が優しさを感じられたり、あとはどの国の友達も自分の国に誇りを持っていることを知りました。

④ 焼肉、寿司、韓国料理… 決められません。

① 留学前の私は、何事も人任せで誰かに頼りっぱなしでしたが、今は少し、自分から行動して問題を解決できるようになった気がします。

② 掃除、洗濯、料理など自分の身の周りのことを毎日やること。

③ 同じ ESLに通う、外国人の女の子。誰に対しても優しく、とにかくいつも誰かの助けになることをしています。わたしもいつも助けてもらっています。自分の損得を考えずに誰かのために行動できて、だからみんなから愛される彼女には、すごく影響を受けています。

④ 特にこれといってよくわからないですが、友達が作ってくれたアツアツの味がおいしかったです。



- ①留学に来てから、勉強をするようになったことが1番大きい変化だと思います。あとは、自分で何事もやってみようになりました。
- ②わからないです。でも1人旅行は初めての挑戦です。
- ③クラスメイトです。クラスメイトがみんな勉強熱心なので、いつも自分も頑張ろうと思います。
- ④ホストマザーの料理です。私のホストマザーはギリシャ人なので、今まで食べたことのないギリシャ料理を毎日作ってくれます。だからあまり外食にも行かないです。オーストラリアの料理では、ミートパイはおいしかったです。

- ①積極的になったと思います。でも、ネイティブに対してはやっぱり英語力に自信がなくて話にいけない自分がいます。
- ②毎日日記を書くことです。他には特にないですけど、アルバイトってホーツを始めたことだと思います。
- ③英語に関してはいいのですが、アルバイトで知り合った人がすごいまくて自分もこんな風にホーツを投げられるようになりたいと思いました。英語に関しては、未里さんの最後のホーツとかはかなり影響されたと思います。
- ④オーストラリアは比較的においしくないです。料理のメニューでおいしいのはないですが肉はおいしいと思います。やっぱり食べ物は日本が1番です!!!

- ①自分では変わったとは思ってません。周りから見れば違うのかもしれませんが。。。それは日本に帰った時の楽しみです。
- ②reading, summarizing, organizing, paraphrasing and writing an article whatever I did.
- ③ホストマザーと担当教員の方々です。
- ④ホストマザーの作るお菓子もなかなかですが、レストランで食べたカドイッチが今の1番ですね。

①留学してから変わったことは、間違えることを恐れなくなりました。オーストラリアに行く前や来て間もない頃は、間違えることが恥ずかしく感じ、人前で積極的にあまり発言しない人でした。しかし、現在の私は間違えることが怖くないし、間違えて得ることのほうがたくさんあると学び堂々と間違えています。

また、留学して精神面がうんと強くなったように感じます。どんなことが起きても負けてたまるか精神です!(笑)

②留学先で「初めて」挑戦したことはたくさんありますが、ウルフを未理さん、現地のオーストラリア人のチームメイトたちとできたことです。1つのホーツを通してみんなと1つになれたこと、チームを思いやる気持ちはどの国も同じでチームメイトたちそれぞれがウルフを楽しくプレイし、私はこの素敵な仲間たちと一緒にプレイできてとても幸せです。

③留学先で出会った「影響を受けた人」はたくさんいます。ブリスベン大学で出会った仲間たちひとりひとりに素敵な魅力があって毎日私に刺激を与えてくれています。

困ったとき、「私の大切な友達だから」と支えてくれました。思っているもなかなか口でできない言葉を素直に、ストレートに伝えてくれる仲間たちに私はとても影響を受けています。この子たちように私も素直に人に伝えられるような人になって帰国したいです。

④留学先で食べた1番美味しい食べ物は、ホストマザーの作るご飯です!ホストマザーは料理が大好きな方でいろんなご飯を作ってくれます。どれもとてもおいしいんです!

また、シティにある外ホーツのジュースとブーストというシェイクの専門店のお店がお気に入りです。友達と出かける度に飲んでます。

- ①精神的に弱くなり、時間にルーズになりました。留学当初ホーツの寂しさを感じる事が多々あり、それを克服した今少し強くなれたと思います。アメリカンではバスを筆頭にどれも時間を守るという意識が薄く、待ち合わせもとてもおどろきです。気づいたら自分も10分、下手をしたら30分程度は遅いことないと思うようになってしまいました。
- ②寮での1人暮らしです。今までずっと両親が世話をしてくれたので、自立する為にも寮を選びました。自炊に買い物、洗濯や掃除と何もかも自分でやりますが、1人分だとそう大変でもありません。最初は少しさびしく感じる時もありましたが、シェアメイトもいるし今ではまったく感じません。自炊は特に楽しくて、様々なメニューを作っていました。今ではすっかり簡単なものばかりになってしまいましたけど。

- ③たくさんいますが、特に影響が強いのはスペインの友達です。当初引きこもりがり勉強がなかった自分を引っ張ってくれて、色々な所へ行きました。彼らと一緒にいる内に会話力も上達して、留学が本当楽しいと思えました。机に向かって勉強するならどこでもできるから、今しかできないことを楽しもうよ。っと、彼らは気づかせてくれました。
- ④牛乳です。特に運動後の牛乳はたまらなばい。

①変わった点って、自分で比べてわかる事じゃないと思います。ほら、理想とか考えて諸々述べたらある事ない事そう思い込んでしまおうですから。なので、帰った私と会って皆さんに感じてもらった方が良くないではないでしょうか?

ああ、でも、留学前より日本語のホーツが上手になってきました。言葉は使わないと忘れてって、本当なんですね。

②色々やりましたが、海外旅行じゃないですかね。アメリカン自体が初海外で、そこからイギリス、フランス…と旅行に行ったのは挑戦でした。慣れて居ないうえ、知らない所に行くのですから、時々言葉も通じなかったりしましたし。できたら、また1人バックパック旅行したいです。

③「今日まで会った全ての人」です。留学先で、日本で、大学に入る前で、会った全ての人から影響を受けています。昔理解できなかった言葉を思い出して、ここで理解できたり、違う文化に触れて、新しい価値観が生まれたり。周りの人に知らない所で何かを与えられて、ふと気がつく影響されていて…なので、名前は挙げられません。

④アメリカンではミルクマーケットです。種類が豊富で甘過ぎないのが最高です。イギリスではロイヤルバグエー、イタリアではジェラート、フランスではクワッサンが美味しかったです。私は甘いものなら何でも美味しく頂けますので、甘いものが1番になります。

①英語に自信がついた事です!留学前は英語で何を言われても聞き取れなかったのと、外人に何て話しかけたらいいのかわからなかったので、話しかけるのにとっても勇気が要りました。でも今は現地の学生と2人で1時間以上英語で喋れるようになりました。お互いの国の話や、趣味の話をしたりするのは楽しいです。何より英語である程度会話出来るようになった事は私自身が実感した成長で、6ヶ月間英語を勉強した成果だと思いました。

②1人で海外旅行に行った事です。

③私が影響を受けた人は現地で出会った日本人女性です。初めてその女性に出会った時日本人だと直ぐに分かりました。初めは戸惑う事が多かったのですが、機会があった時に色々話してはアドバイスを頂いていました。その方は既に英語がペラペラでしたが、海外の大学に入るという目標のために図書館で勉強をしていたのを良く見かけました。その姿を見ては私ももっと頑張ろうという気持ちにさせられていました。簡単なものでも良いから本を読むと良い勉強になるよと教えてもらっていたので、今は私のレベルにあった小説を読むようにしています。その女性は既に試験に合格して日本に帰ってしまいました。私もその女性の様に目標を達成して日本に帰れる様、頑張りたいです。

④ホストマザーが作った中にノートルが入ったスープです!!

- ①英語が話せるようになったこと、社交的になったこと。
- ②誰かに料理を作ったこと。
- ③ホストファミリー！ホストにいい人で、ホームステイを変えてよかったと思っています。
- ④ホストマザーのトマトスープ♪売ってるものだとフィッシュアンドチップスが大好きです！！

- ①外国に行きたいという気持ちが強くなりました。
- ②自分から外人に話しかけることです。
- ③外人の友達です。
- ④ヨガが大好きです。

- ①日本の食べ物がいかにおいしく気付きました。
- ②車とバスでの長距離弾丸旅行・・・これはすごくいい旅行でしたが、なかなか見つかったです^^
- ③同じ学校の友達（とくに同年代）
- ④韓国人の友達が作ってくれたブルゴキ（ライス付きで）

- ①自分では特に変わったとは思っていません！
- ②留学先で guitar を始めました！
- ③特に思い当たりません
- ④やっぱり日本食です。

①日本にいたときより自分を強く持つことができるようになりました。きっと留学しなかつたら変わらなかったと思います。

留学で変わった点が英語じゃないの？と思うかもしれませんがこれも留学する上での大切なことだと思います。

もし留学して今自分がやっていることは自分のためになっているか、本当にこれでいいのか、後悔しないか考えて行動すると良いと思います。

②それは簡単すぎる答えなのですが、日本人自分だけで周りは日本人じゃない人たちとどこか海へ行ったり、他の街に行ったことですね。（笑）

あとは2、3日1人で旅行したことです。これは、だいぶ勇気がいりますよね。日本で1人旅も抵抗あるのに海外だから余計です；でも友達もできて一生やらないよりやってみて良かったと思います。

③それはもちろん出会った友達たちですね。留学先で出会った日本人の人たちの意見、他の国の人たちが考えていること。これって留学してみてもわかることなんですね。これは影響を受けることができ良いことだと思います。

④ホストファミリーが作ったスィーツやアイスが大好きです！当然いつもホストファミリーの料理が全部自分の好みだというわけではないのですが、いつも普通に美味しいので結構好きです。

いつも日本とは全く違う料理が出ます。時々日本食恋しくなりますが！（笑）

- ①変わったことはとくにありませんが、なんか最近考え方がネジタイプになった気がします。
- ②挑戦になるかはわかりませんが、海外で引越越しをしたのはいい経験になりました。
- ③影響を受けた人はやはりホストファミリーだと思います。
- ④どれも同じくらいなんですけど、やはり米を使った料理が出てくるとうれしいです。

- ①色々な国の人と出会って世界観が変わったというか、国に対する偏見はなくなりました。これは全員そうだと思いますけど、自分から普通に英語で話しかけられるようになりました。TVを見て前より聞き取れるようになったとか、英語力は少しずつ伸びています。
- ②スキしました！
- ③未だすごい影響を受けたって人はいないかもしれませんが。多分沢山の人から影響を受けてるんだと思います。こういう考え方もあるんだとか、会う人会う人みんな新鮮です。
- ④NZの食べ物だと、パブホップというケーキがおいしかったです。

①自分ではあまり分かりませんが、いろいろな事に自分から挑戦できる勇気が持てるようになりました。完璧な英語ではありませんが英語で話す事に違和感を持つ事もなくなりました。行動力も上がったと思います。何よりも外国人の友達がいっぱいできました。

②もちろん外国人の友達と一緒に外食を食べたり、旅行に行ったりした事です。これは日本に帰ってから、絶対にいい経験になると思ってます。ホストファミリーの友達と一緒に祈りもしました。しっかり真面目にやりました。夜のクラブに行ったり、旅行の人たちとお酒を飲んだり、留学先の大学のホストファミリーのイベントにも入って一緒に練習して大きな試合にも出ました。実は友達とお酒を飲んだのも留学してから初めてです。留学してから沢山初めての事をやりました。

③同じコースの生徒たちです。と言ってもまじめにやらない生徒もいますが、自分の親の代にあたる人たちが一緒になって勉強をしたり、会話をしていると彼らがどれだけ沢山勉強してるかが分かって、自分ももっと頑張らないとって気持ちになります。他の外国人の生徒も結構将来何をやりたいかなど決まっています自分も目標を決めてしっかり頑張らないとって思います。留学してから英語だけじゃなく生徒から色々な生き方を学び自分にとってとても良い参考になります。つまり答えは生徒たちです。

④ホキボキアイスクリムとグッツィグッツィアイスクリムです。留学してから一番最初に食べ物で今でも一番好きです。ホストファミリーが作る料理も美味しいのですが、やっぱり自分は甘いものが好きなのでこれです。日本に帰ってから食べられなくなるのが本当にいやです。

①何事にも積極的にになり1人で沢山のことが出来るようになりました。日本にいたときより沢山勉強するようになりました。精神面が強くなりました。

- ②ほとんどの事が私には、初めてです。あとは、1人でアリの飛行機に乗ったことです。
- ③私よりか年下なのに英語がペラペラな人です。
- ④1番は決められないけど mexican food です。初めて挑戦しました！

①違う点はやはり、1番英語の能力の成長をすごく実感しています。

こっちになると、ほとんど日本人とコミュニケーションを取る機会が減り、逆に日本語をしゃべろうとしたときに困惑してしまう自分がいて、びっくりしています。

②初めて挑戦したことは、自分でなにかもやるということ、日本では経験していなかったので、これは今後の人生のためにすごく役立つと思います。（例 洗濯、食品などの買い物、掃除などなど）

③影響を受けた人は、周りにいる英語のできる友達たちです。彼ら、彼女らは僕の勉強へ対する闘争心を上げさせます。

これはとても、自分の勉強にとってプラスだと思います。日本にいて、あまり悔しいなど感じたことがなかったです。

④1番おいしいものは、ハンバーガーです。こっちに来る前からジャンクフードは好きで、こっちに来て本場のジャンクフードを食べることができてとても幸せです。

最近ほとんど毎日、食堂でハンバーガーを食べています。

- ①物の考え方。
- ②思いつかない。
- ③INTOで働いてるりょうこさん、LEE せんせい
- ④ハンバーガー、えび、夕料理

①今までは相手の非だと思って面倒だと思ったときには、なにも言及しないでいたけれど、今はきちんとと言えるようになった気がする。それから、こちらの人はやはり“否定”の強さが日本と違い、全力で否定してきます。最初は少し、このことに対して戸惑っていたのですが、最近では慣れてきました。

- ②カレー、水たばこ、swing
- ③ホストマザーです
- ④funnel cake（さくさくなドーナツのような生地の上に大きなアイスがのったカク）の名物です。写真、添付しておきますね

①まだ自分でわかるくらい変わったと思うことはありません。

②特に思いつかないんですけど、食べ物は初めて食べるものが多かったです。

③他国の友達やホストファミリーからいろいろ影響を受けてると思います。行動力のめんて特に影響を受けてます。

④ホストファミリーのおばあちゃんが作ってくれたミートボールです^^ほんとにおいしくてたくさん食べました！





①すべて。生活リズム、食生活、学習意欲から自己管理、自己責任、自己認識、自己表現。家族への思い、友達への思い、恋人への思い、周りにいる人への思い。

新しい場所というのは手に取るものすべてが新鮮で私にいろんなことを気づかせた新しい目標を与えてくれます。

1人暮らしの経験などなかった私にとっては、初めて家族と離れ一人として自分を見たとき、わたしがどんな人間であるのか、何がどのくらい必要であるのか、そしてまた家族の一員として戻るときどうあるべきなのかを考えさせられました。

②カヤウの滝ツアー、野球観戦、カジン掲載。
③林ツアー。3～4つ上のお姉ちゃんは美人でおしゃれでとってもクール。めんどろな女の子との付き合い方や、ややこしい男の子との付き合い方・・・いろんな人生相談にも乗ってくれていつも適切なアドバイスしてくれます。でもわたしが最もあこがれるのは彼女が家事をしたりしていたことホムステイしている学生の世話をしている姿です。そして毎日聞こえてくる仲良し親子のかわいい会話が大好きです。私もあんなふうにならば自然に味家事をこなしたり、今まではあまり仲のよくなかった母ともっといい時間を過ごしたいです。

④アーチン！！

①正直に言うとかがに到着した時は喫茶店でコーヒーを買うのに恐ろしい時間が必要でした。

今思えばそんな状態でよく留学にきたなとおもいます。

現在ではほぼ日常的な会話には苦労しません。完璧にしゃべれてるわけではなく、わかなくても素直に質問できるという意味です。前は質問をどうやって言えばいいかわかりませんでした。

ただクラスの Meeting や discussion では苦労続きです。

②たぶんホムステイの移動が初めて自分で頑張ったものだと思います。

かがにきた当初は何もかもが挑戦でした。かがに来ること自体が挑戦ですね。

③1番影響を受けてるのは年上の男の日本人の方とその人の友達の現地のひとです。

その人たちは私よりずっと年上なので、英語以外にも日々学んでいます。

その現地の人は前、私達のために発音のクラスを開いてくれていました。

最近は会話がなんとなくできるようになったからか、すごい仲のいい友達という感じですよ。

④おいしいもの……こっちは韓国料理をよく食べます。安いというのが第1の理由ですが、韓国人の人たちとよくいるので必然的にそんな気がします。

日本料理は高いうえにまずいです。

韓国スーパーに日本の食材が売っているので自分でよく作ります。

最後にこっちに来てたしかに帰るまでに英語がしゃべれるようになりたいと必至です。

ただこっちにきて英語以外のことの方がたくさん学べている、そんな気がします。

じゃあ何を学んだの？といわれるとはっきり答えられませんが、来る前に大学の先生の谷口さんに言われた「英語なんてものはおまけ、それ以外のいろんな体験ができればそれがいい留学だ」という言葉。

前は英語の勉強のための留学じゃんかと思っていましたが、今は谷口さんの意見に賛成です。もちろん勉強もちゃんとしなければ意味が無いと思いますが、世界にはこんな考えを持っている人がいるんだなど様々な発見ができます。

時には楽しく、時には苦しく。いろんなことがありすぎていろんなものが成長できている気がします。

①私の場合、以前よりもだいぶ弱くなったような気がします！！こっちで悩むことはもちろん何度もあったんですけど、それを経て少しのことでは動じなくなりましたし、何事もポジティブに考えられるようになりました。1人で行動することも今は苦ではありません！あとは時間にルーズになってしまったことです…というのも、こっちでは電車の遅れや停止は日常茶飯事ですし、加えてかがの人たちのマイナス部分に影響されてしまったのかもしれないです。でもこれは直さないといけないですね(泣)

②今思いつくのはボランティア活動に参加したことです！！日本にいた頃もこっちにきてまだ間もない頃も、やりたいという気持ちはありましたが、最近までなかなか行動に移せませんでした。ここではそういう機会も時間もたくさんあるので、もっともっと積極的に参加したいと思っています。

③ルームメイトのブラジルの女の子です！彼女の性格、とりわけコミュニケーションのとり方にはだいぶいい影響を受けています。彼女は本当に誰に対しても分け隔てなく接するし、よく気づかひの出来る子です。またすごく家族思いで、私に親孝行の意識も高めさせてくれました！！学ぶ意欲もすごくあって、彼女がいなかったら私の留学は今ほど濃いものにはなっていなかったと確信しています。

④絶対に林ツアーのご飯です！！毎日ほんとにちゃんと作ってくれて、日本食を恋しく思ったことがほとんどないくらいでした(^)おかげでほとんど太って行ってますけど！笑

定期連絡より～現地レポート！

留学行く前はほんとと右も左も上も下も分かりませんでした。今なら後輩にアドバイスができるかなと思います。という訳でここまでの留学生活の中で感じたことや、リリックの事について少しまとめてみようと思います。※以下、このコメントより抜粋～夏前は人が少なく、1クラス10人以下でした。授業については、これは完全に先生次第なので何とも言えませんが私の先生はみな親切で、分かりやすいです。日本人は他の国と比べるとやはり少数のようです。夏こそ10人ほど来ているようですが私のクラスに日本人は誰も来ませんでした。それよりもたっくさんのヨーロッパの人が来るので、夏が本当に楽しいと思います！それまでが寂しかったんですけどね・・・。

また夏では毎日のようにアクティビティがあり、特に私はサーフィンが好きで毎週参加しています。またアクトゥムジックや、日帰り旅行などとても活気溢れます。

インターネットも日本語が使え、DVDで映画を見ることもできます。あまり新しい映画は置いていないんですけど。特に不自由を感じることもなく、いい学校だと思います。リリックは田舎です。天気めちやくちやです。不便です。しかし子供の頃自然に囲まれて育ったせいとか、とても落ち着きます。晴れた時の空は本当に澄んでいて広大で吸い込まれそうなんです。

寮の周辺も大きな川があり、その横の道が大好きでたまに走っています。現地の人も好きなようで、たまに挨拶してくれます。不便というのはスーパーがどこも少し離れていて、歩くまで往復40～50分くらいかかります。ホムステイならばこの悩みはなさそうですが。私は自転車を買ったので、往復15分程度になりました。値段も7千円前後で帰るときに売ることができるので、寮に住む人にはおススメです。バスで15分程度の中心街は洋服以外の店は、ファーストフードやバブ・ナイトクラブ程度しかありません。

月曜日、ここに来てからよく面倒を見てくれていたコリアンのおにいちゃんたちがとうとう帰ってしまいました。ほんとうの妹のように可愛がってくれて、いろんなところに連れて行ってくれたり、週末はよくホムパーティーに呼んでくれたり、サッカーもたくさんしました。そんな彼らがいなくなったのは想像がつかないくらいです。空港まで送りに行って最後に手作りのプレゼントを渡したとき、初めてお兄ちゃんたちの涙を見て私も思わず止まらなくなってしまいました。でも日本と韓国、わたしが帰ったすぐ後に遊びに来てくれると約束してくれたので笑顔で精一杯手を振りました。

木曜日、まいにち一緒だった親友も韓国に帰ってしまいました。同い年ではじめてあったときから気があって何をしても一緒だった「ベストフレンド」。出発前夜のさよならパーティーでは最初から泣いていた主役と私。授業の関係で空港にけなかつたのですが彼女にもまたすぐに会えるのでさよならはいらないかな。

出会いの春は全てのことが行き行っていて、むしろサレシヤの自分には失うものは何もないと思っていました。出会いがあれば別れがあること、わかっていたはずだけど、だけど寂しいですね。でもそれ以上に友達というものの良さや人生の価値、ここに来た目的は英語だけではないということ、そしてまた新しいスタートを私に教えてくれたのかも知れません。

編集後記：ここには掲載しきれませんでしたが、日々たっくさんの現地レポートが届いています！

今回の留学 NEWSLETTER は、特に、保護者の方々や現在留学を希望している後輩への素晴らしいメッセージとなることでしょう。また、まもなく通年・後期で留学している学生がぞくぞく帰国します。大きく成長したみんなに会えるのが今から楽しみです。

(国際教育センター スタッフ一同)

